

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	実 習		
科 目 名	自動車検査		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	二級自動車整備科二輪自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	2年後期	・ 月～水曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	53. 2時限（期末試験を除く）		
担当教員名	廣石 泰大・川向 芳子		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、二輪自動車の点検、整備を行う上で必要となる知識と技術についての実習を実施する。		
授業の目的	二輪自動車の点検、整備を行う上で必要となる知識と技術の習得を目的とする。		
テキスト	①自動車定期点検整備の手引き		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	定期点検1	24ヶ月点検 (エンジン関連オーダー付き)	①
第2回	定期点検2	24ヶ月点検 (シャシ関連オーダー付き)	①
第3回	定期点検3	24ヶ月点検 (電装関連オーダー付き)	①
第4回	定期点検4	24ヶ月点検について確認実習を行う。	①
第5回	定期点検5	問診の基礎について解説。 実際に問診してみる。	①
第6回	定期点検6	問診と引渡し説明	①
第7回			
	ステップ試験（中間試験）	第1回～第7回までの授業内容に関する実技試験	
	期末試験	第1回～第7回までの授業内容に関する実技試験	
到達目標	24ヶ月点検の入庫、点検整備、引渡しまでを全て出来るようになることを目標とする。		

成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30%</p> <p>期末試験の点数 40%</p> <p>平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p>
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。